

講演会

「悲しみと共に生きる」

ジャーナリスト

佐藤慧

どこに行くにも、

「無事に帰っておいでね」

と笑顔で送り出してくれた

母を思い出す。

まさか日本の田舎に、

突如としてこのような

無数の死が訪れるなんて

誰が想像出来ただろうか――。

(『ファイナダー越しの3・11』より)



Photo by Atsushi Shibuya

2013年7月27日 **土** 13時～16時 (開場 12時半)

岩手県釜石地区合同庁舎 (〒026-0043 岩手県釜石市新町 6-50)

東日本大震災で、最愛の母を亡くした岩手県出身の
ジャーナリスト・佐藤慧さんを迎え、
大切な人を奪われた悲しみ、そして、その悲しみを
地域で分け持っていくことについて考えます。
会場では、佐藤さんが震災後の陸前高田市や
そこで生きる人々を写した写真展も開催します。

参加無料 / 定員 100 人 (要事前申込。申込み方法については、裏面をご覧ください。)

主催・問合せ先: NPO 法人ライフリンク (〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-8-5 多幸ビル九段 5 階 電話 03-3261-4934)

共催: NPO 法人カリタス釜石、NPO 法人グリーンサポートリンク (全国自死遺族総合支援センター) 後援: 岩手県釜石保健所

本事業は、「タケダ・いのちとくらし再生プログラム」の一環として実施しています

佐藤 慧 (さとう・けい)



studio AFTERMODE 所属ジャーナリスト。1982 年岩手県盛岡市生まれ。
2007 年からアメリカの NGO で研修を受け、
南部アフリカ、中米などで地域開発を担当。
その後、ジャーナリストとしてアフリカ各地を回りながら、
写真と文章を駆使し、人間の可能性、命の価値を伝え続けている。
東日本大震災では、陸前高田市で行方不明になった母を探す傍ら、
震災直後から現地の取材や緊急支援を開始。
現在も、地域の住民活動の後方支援などを行っている。
共著に『ファインダー越しの 3.11』。

会場案内

・電車

JR 釜石線・小佐野駅から徒歩 10 分

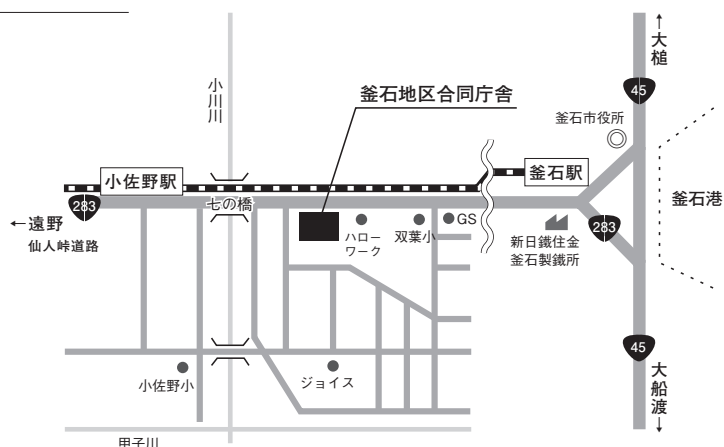
JR 釜石線・釜石駅から車で 5 分

・車

仙人峠道路・釜石西インターから 10 分

・駐車場

釜石地区合同庁舎駐車場 (70 台・無料) ご利用ください。



講演会「悲しみと共に生きる」申込みフォーム

お名前

ご住所

ご連絡先

ご所属 (ある方のみで結構です)

上記の 4 点について、電話・ファックス・メール・郵送のいずれかの手段で、
NPO 法人ライフリンク「悲しみと共に生きる」係までお知らせください。

・電話 03-3261-4934

・ファックス 03-3261-4930

・メール info@lifelink.or.jp (※件名を【「悲しみと共に生きる」申込み】としてください)

・郵送 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-8-5 多幸ビル九段 5 階